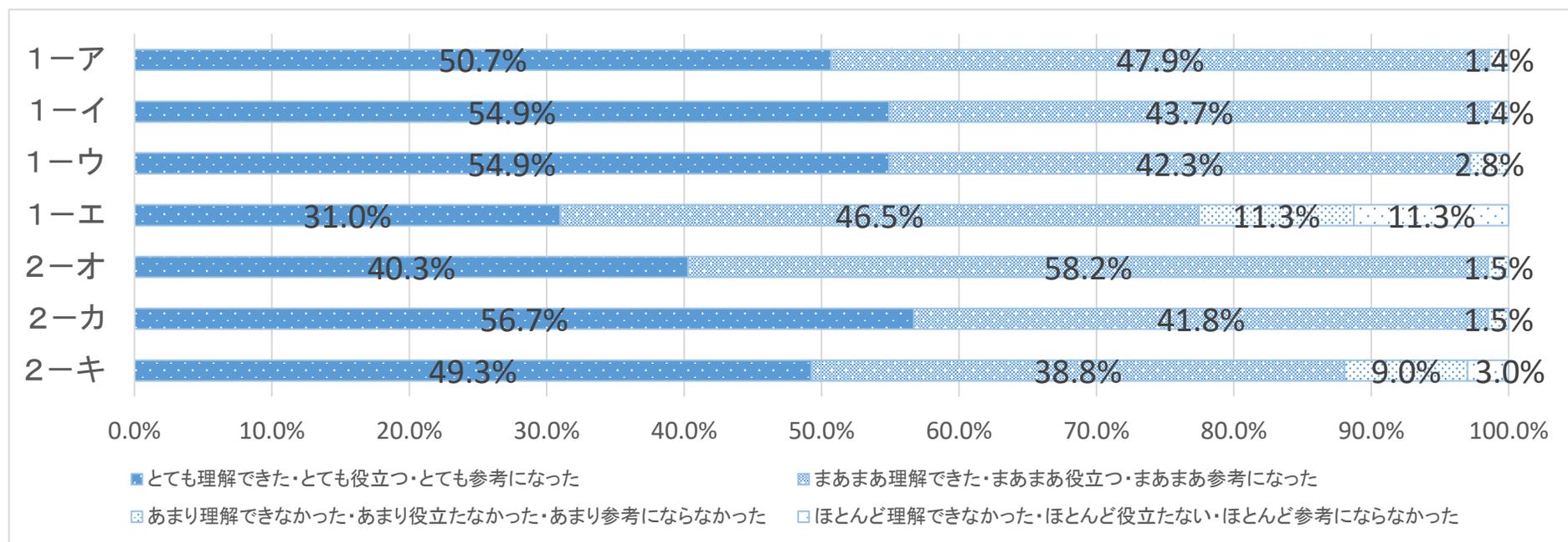


令和3年度広島県公民館等職員研修会受講者振り返りアンケート集計

- 【質問内容】
- 1ーア：講演の内容は理解できましたか。
 - 1ーイ：講演の内容は、職務に役立つものでしたか。
 - 1ーウ：事例提供・トークセッションの内容は、職務に役立つものでしたか。
 - 1ーエ：意見交流では自分の取組や考えを発言することができましたか。
 - 2ーオ：体験講座の内容は理解できましたか。
 - 2ーカ：体験講座の内容は、職務に役立つものでしたか。
 - 2ーキ：意見交流では自分の取組や考えを発言することができましたか。



【振り返りアンケートの記述内容から】

- 講演の中で老舗企業が今後生き残るために必要なものと言われてたことが公民館にも当てはまるものだと感じ、利用者との信頼関係の維持・向上、新しい事への取組、個々の資質の向上を念頭に入れ、業務に努めたいと思いました。
- 公民館が多様な人に利用されるため、時代に合わせたものに取り組みなければならないと感じ、新しく何かを始めたいと思うきっかけになりました。
- 大竹市立栄公民館の事業や萩市須佐公民館の2つの事例を聞き、地域住民を巻き込み、一緒に活動を行っていくことが大切だと思いました。
- 大竹市立栄公民館のように行政や企業、警察署など多様な団体と取り組み、地域の発見ができる所が素晴らしいと思いました。
- 情報発信ツールとしての広報誌の作成は重要であり、何をどう取り扱うかは社会教育の視点が欠かせないと思いました。
- オンライン講座を参加者目線で見ること、見え方や感じ方が実感できた。また、裏方のやっていることを同時に説明してもらえたのがよかったです。
- 「誰でも、どこでも、いつでも」学ぶ機会を提供するためには、オンラインなどのデジタル機器を活用した事業展開は必要不可欠であると感じました。
- オンライン講座は自分たちには難しいイメージでしたが、体験することで可能性を実感しました。実際に必要な機材、知識等をもっと知りたいと思いました。